

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2002.10-2017.5の期間に当センター胃外科で手術をお受けになった患者さん			
②研究課題名	胃癌における術前予後因子としての肉眼型			
③実施予定期間	承認日 ~ 2019 年 3 月			
④実施機関	静岡がんセンター胃外科			
⑤研究代表者	氏名	坂東悦郎	所属	静岡がんセンター胃外科
⑥当院の研究代表者	氏名	坂東悦郎	所属	静岡がんセンター胃外科
⑦使用する検体・データ	カルテから後ろ向きに収集する臨床データを使用しますので、患者さんに新たな検査や診察の追加はありません。			
⑧目的	Type3/4 胃癌(スキルス胃癌を含む)の生存転帰は不良で、本邦では術前化学療法の臨床試験の対象にもなっています。しかしながら American Joint Committee on Cancer (AJCC)が提唱する将来の病期分類構築のために、収集を推奨している予後因子に肉眼型は含まれていません。今回の検討の目的は、肉眼型の予後因子としての意義を明らかにすることによりよい治療を考案することです。			
⑨方法	術前に診断された肉眼型を Type0、1/2、3、4 の4つに分類し、生存転帰(単変量および多変量)および術前診断と術後切除標本による診断の一致率を評価し、肉眼型の予後因子としての意義を評価します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2018 年 3 月 26 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利(特許権等)は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222 (内線 3379)
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長